

ニューヨークで「東日本大震災追悼式」

夏時間に切り替わり、昼間が1時間長くなった3月9日の午後、ニューヨーク、マンハッタンのニューヨーク日系人会館で、東北6県と北海道の県人会で構成される「ほくほく会」



主催の「東日本大震災追悼式」が行われた。

この追悼式は2012年から毎年行われており、今年が3回目となる。在ニューヨーク総領事、草賀純男大使、毎年ニューヨークで「阪神淡路大震災」の追悼式を行っているニューヨーク兵庫県人会の大西哲也会長を迎え、被災県である、岩手、宮城、福島各県人会の会員を中心に約100名が出席した。



毎年、各被災県の現状レポートを行うことが恒例になっており、今年も岩手県人会の藤島誠さんが、陸前高田市の吉田和子さんから寄せられた、コミュニティカフェ「りくカフェ」などの活動内容、現地の復興状況を、および度々ボランティア支援で陸前高田市を訪問している斉藤美夏子会員からの現状報告をし、福島県人会の小川佳世子さん(猪苗代出身)が、福島県内各地で進められている復興への取り組みの報告を行い、宮城県人会の堀江貴さんは、宮城県荒浜宝蓮院住職、丹野峯稔さんにスカイプで現地の様子を伝えてもらった。また、北海道ゆかりの会会員で「道走会」を主宰する山崎綾子さんは、被災地支援のための「道走会」の活動報告を行った。



14時46分、岩崎雄亮 NY 岩手県人会名誉会長の音頭で、お亡くなりになった犠牲者皆さんへの1分間の黙祷を捧げた。

第2部も恒例となったコンサート。出席した人たちは故郷の復興を願いつつ、阿部公美さん(相馬出身)のピアノ、宮崎信子さんのフルート、東日本大震災を機に結成された混声合唱団ジャパン・コーラル・ハーモニー「とも」の歌声に耳を傾けていた。

岩崎雄亮 (NY 岩手県人会名誉会長) さんご投稿 (2014. 3. 12)